

令和6年度教育課程について

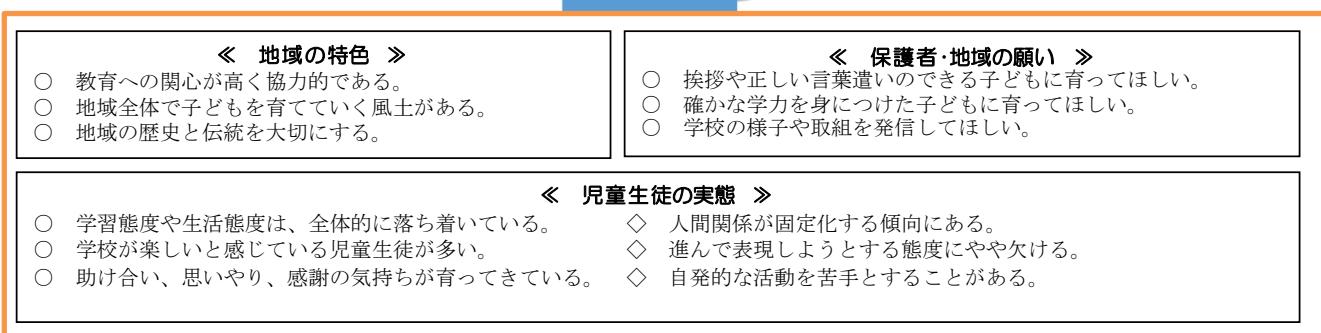
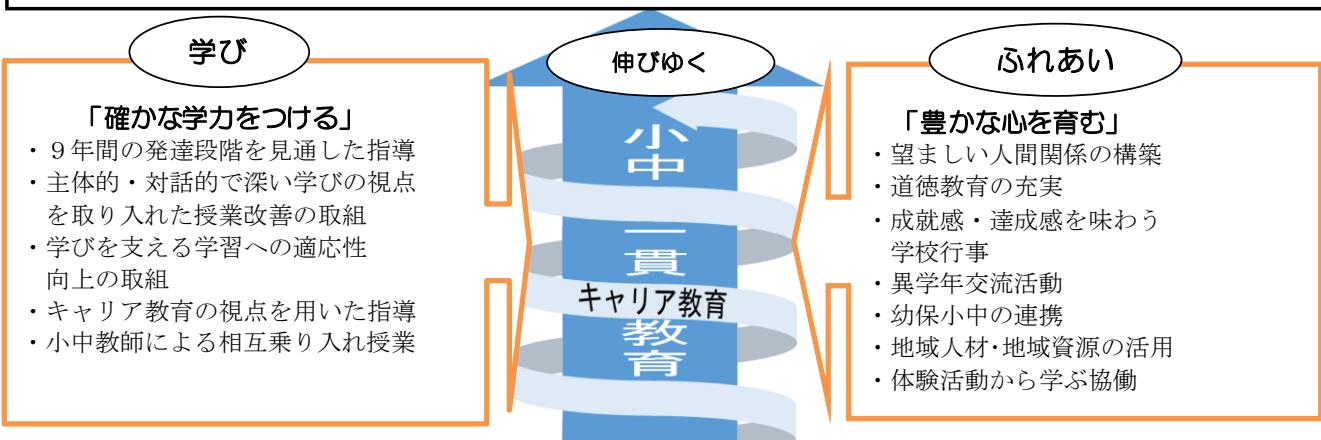
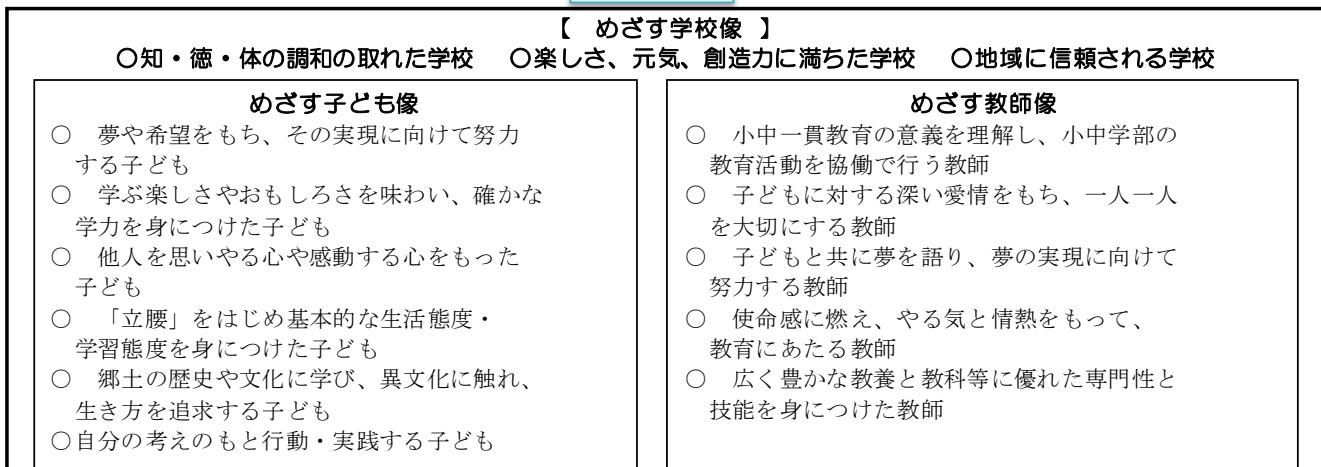
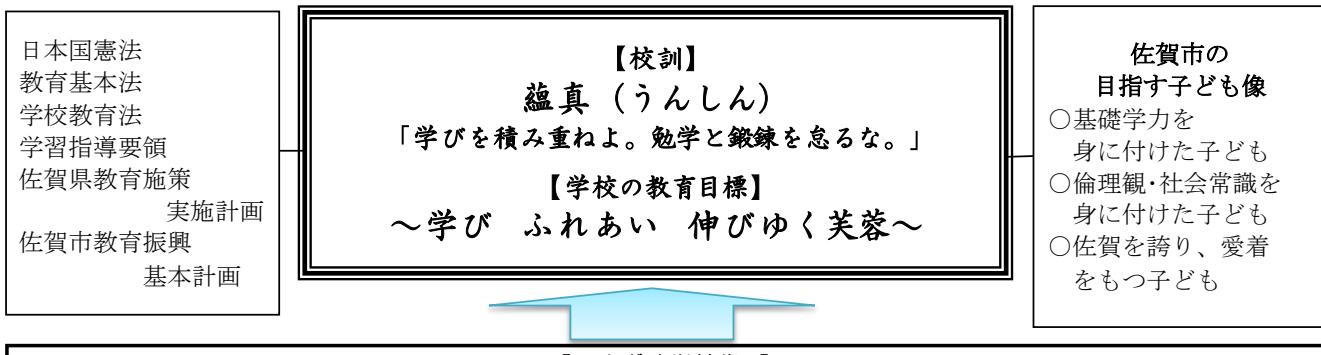
このことについて、佐賀市立小・中学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおり届け出します。

記

1 学校の教育目標

(1) 教育目標・グランドデザイン

9年間の学び・ふれあいをつなぐ小中一貫教育校



2. 本校の教育の特色

9年間の学びとふれあいをつなぐ教育の創造

- 小中教師による小中TT、専科、中TT等、多様な形態による授業の実施
 - 中学部教師による小学部への専科指導 4・5・6年図画工作科、音楽科(必要に応じて)
 - 小学部における中学部教師との TT 授業
5・6年理科 5・6年家庭科 1～6年外国語科・外国語活動 特別支援教育 5・6年体育科
 - 中学部における小学部教師との TT 授業
- 前期(1～4年)を「学びの土台づくり」期、中期(5・6年)を「学び方の習得」期、後期(7～9年)を「学びの充実・深化」期と位置付け、「学び」と「ふれあい」を通して児童生徒の良さや特性を生かす教育活動の展開
 - 前・中・後期の発達段階と特性に応じた学習面、生活面での取組
 - 小中一貫したキャリア教育の推進
 - 小中一貫した生徒指導・教育相談の実施
 - 「立腰」をはじめ、基本的な生活態度・学習態度の定着
 - 自他を敬愛する心を培い、豊かな心と正しい判断力をもつ子どもを育成する9年間を見通した教育活動
 - 養護教諭や学校栄養職員と学級担任が協働した健康教育・食育の実施
 - 幼稚園・保育園と小中の連携、公民館をはじめとした地域との連携、

3. 教育計画

(1) 本年度の教育の重点

「学び」と「ふれあい」により、子どもの力を伸ばし高める教育活動の展開

- 確かな学力をつける
 - 9年間の発達段階を見通し、前期・中期・後期の特性を生かした指導計画で指導の連続性を図る。
 - 主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業改善の取組を行う。
 - 学びを支える学習適応性向上の取組をする。
 - 「立腰」の励行で基本的な生活態度や学習態度の定着を図る。
- 豊かな心を育む
 - 「出会いの一礼」「感謝の一礼」の励行を徹底する。
 - 学校行事での児童生徒の交流や学年を超えた異学年交流活動を行う。
 - 地域人材・地域資源の活用を積極的に行う。
 - 総合的な学習の時間「蘊真」、「大地」(農業体験)や本物から学ぶ体験活動を取り入れる。
 - 平和学習や人権・同和教育についての学習、「いじめ・いのちを考える日」などを系統的に行う。
- 開かれた学校づくりを進める
 - 児童生徒や職員が地域行事等に積極的に参加する。
 - 企画委員会で広報内容を検討し、ホームページや各種便り等で保護者や地域へ情報を発信する。
 - PDCA サイクルを活用し、学校評価や外部評価を教育活動の改善に生かす。
 - 地域・保護者が参観・参加できる学校行事等を計画する。
 - 育友会、まちづくり協議会、公民館との連携強化を図る。学校運営協議会設置に向けた協議を開始する。
- キャリア教育の基礎的・汎用的能力の育成
 - 特別活動、総合的な学習、各教科等、すべての教科領域で児童生徒のキャリア発達を促す。

(2)佐賀市の特色ある取組について

①幼保こ・小・中連携の取組

SDGs 4,17

- 幼保小のつながりを意識した接続期プログラム「えがお わくわく」の取組を行い、幼稚園・保育園から小学校への教育活動の円滑な移行を図る。
 - [前期]生活科単元で園児を招待しての秋祭りや学校体験等の活動を行う。
 - [後期]生徒の幼稚園・保育園での職場体験や技術・家庭科の保育単元での保育実習を行う。
 - 芙蓉校体育大会、芙蓉校文化発表会、フリー参観デーへの園児招待を行う。
- 幼児期における遊びを通した総合的な学びから、各教科等における自覚的な学びに円滑に移行できるよう、入学当初において、スタートカリキュラムを編成、実施し、生活科を中心とした合科的・関連的な工夫を行う。
- 幼保から小中へ、小中から幼保へ、園児・児童生徒及び教職員が互いに訪問し合い、園児理解及び児童生徒理解を深める。
 - 幼保小連絡会(幼・保、小学部代表等が参加しての協議及び情報交換)を学期に1回ずつ実施する。
 - 幼保から「えがおわくわく学校訪問」を利用しての参観、小中から「保育参観」を行い、職員の相互理解を図る。
- 小中間の授業乗り入れやTTによる指導、部活動体験での児童生徒の交流等、指導の継続性や児童生徒理解を進める。

②「いじめ・いのちを考える日」の取組

SDGs 3,4,5,16

- 毎月1日を「いじめ・いのちを考える日」として指導を行う。
- 每学期の始業式に「いじめゼロ宣言」「いじめ0の約束」の唱和を行い、いじめ防止の意識を高める。
- 小学部は「〇月の心」、中学部は「生活アンケート」の実施・共有を通して、児童生徒理解を深めるとともに、いじめの早期発見、早期対応につなげる。
- 小学部では毎学期1回、教師による人権の話を実施し、自分や他人の大切さを認める意識の向上に努める。
- 中学部では毎月人権講話を実施し、人権意識の向上に努める。人権講話の後、生徒会が「いじめゼロ宣言」を読み上げる。
- 玄関にのぼり「いじめをなくそう みんなの力で！」を掲げ、児童生徒、教職員、保護者に意識付けを図る。

③市民性を育む取組

SDGs 4,11,12,17

- 総合的な学習の時間「蘊真」等を活用し、蓮池町並びに佐賀市の歴史や産業や偉人について学習し、郷土への誇りと愛着を育てる。
- 祇園祭りや観月会等、蓮池町の行事や伝統芸能への積極的参加を通して、地域の一員としての自覚を高める。
- 全校縦割り班による蓮池町クリーンアップ作戦の実施、国土交通省主催の城原川ノーポイ運動への参加等により、地域の環境改善に关心をもち、地域をよりよくしようという意識を高める。
- 町民体育大会への参加を呼び掛け、地域での「出番・役割・承認」を受け、地域の一員としての責任と喜びを感じさせる。
- 小学部では「ふるさと学習」で佐賀市内の自然、歴史、文化、公共施設等を計画的に訪問させることで、郷土の佐賀に誇りと愛着をもつ子どもを育てる。
- 中学部では、学級活動・特別活動と連携しつつ、市民性を育むことを意識し、活動を行う。また、生徒会活動では、主体性と協調性、協力する力、創意工夫する力などの力を伸ばすことを目標に進めていく。

(3)指導の重点7項目

①「いのち」を守る教育の充実(安心・安全な学校づくり)

SDGs 5・7・10・11・14・15・16

- 児童生徒の自己有用感や自尊感情、他者を思いやる心などを育む道徳教育の充実を図る。
- 6月のフリー参観デーに、ふれあい道徳の授業を実施して地域との連携を深める。
- 自己を見つめる場を大切にし、道徳的価値を多面的・多角的に考えることができるような場を工夫して取り入れていく。特に、「生命の尊さ」を全校の重点指導内容の一つとし、指導を重視する。
- 地域の行事や祭りを調べる活動(3年生)、高齢者疑似体験(4年生)、米・野菜作り(5年生・7年生)などの体験活動を教育課程に位置付け、地域のゲストティーチャーを招いて行う。
- 防災及び防犯訓練(風水害、不審者、地震・火災への対応)を実施し、危険回避のための具体的な行動を指導する。
- 学部集会等で「いかのおすし」をもとに不審者対応の方法や安全についての理解を深める。
- 総合的な学習の時間や各教科において、指導内容との関連を図りながら安全教育の充実を図る。
- 危機管理については、マニュアル等により全職員で共通理解をし、非常時における支援体制を整えておく。

②主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善(学力向上)

SDGs 4

- どの教科においても、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業改善に取り組み、実践を進める。
- 学習課題の設定・提示の工夫、見通しをもたせ、振り返りを行わせる指導の工夫によって、主体的な学びを促す。
- 形態や順序を工夫し、目的を明確にした「話し合う」活動を設定し交流させることによって、対話的な学びを促す。
- 探究的な学習を進めることによって、深い学びを促す。
- デジタル教科書や電子黒板等のICT機器を効果的に利活用していくことで、分かりやすい授業づくりに取り組む。一人一台端末を活用し、児童生徒の基盤となる資質・能力の育成を目指す。

③特別支援教育の充実

SDGs 4

- 毎月の生徒指導協議会の中で、または必要に応じて情報交換を行い、支援の在り方について検討する。その後、チームを組んで児童生徒及び保護者を支援する。
- ユニバーサルデザインを意識した教室環境整備を全学年で共通理解したり、分かりやすい授業づくりを目指して板書や話し方の工夫をする等、指導方法を共有したりする。
- 特別支援教育に関する職員研修を実施し、障がいのある児童生徒への理解を深め、具体的な支援方法を学ぶ。
- 個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成・活用し、次の学年へのなめらかな接続を図る。
- 自立活動については、児童生徒の実態に応じた個別の指導計画を作成し、実施する。
- 特別支援学校の巡回相談を利用し、児童生徒の支援に役立てる。
- 学校生活支援員や特別支援学級支援員の活用については、特別支援コーディネーターが、支援対象児と各学年の時間割、各担任の要望等を考慮し、毎週計画する。

④生徒指導の充実

SDGs 5・10・16

- 縦割り活動を通して、相手を思いやり、自分の責任を果たせるようにすることで、いじめの未然防止につなげる。
- 小学部では月に1回「〇月の心」、中学部では毎日「つぶやきノート」に自分の悩みや気持ちを自由に書かせると共に、毎月「生活アンケート」を実施し、いじめの早期発見、早期対応につなげる。
- 「いじめ防止対策委員会」を設置し、いじめ防止等について組織で対応する。
- 児童生徒の自己有用感や自尊感情、他者を思いやる心などを育む道徳教育の充実を図る。
- Q-U テスト、NRT テスト等を実施して、学級集団の実態を客観的に把握し、よりよい集団づくりに努めるとともに、個々の自己肯定感を高める取組を行う。
- 小中合同で、生徒指導協議会を開き、各学年で配慮を要する児童生徒について共通理解し、全職員が協力して対応にあたる。
- 携帯電話やスマートフォン等(写真、動画、メールやSNS等)の取り扱い、休業日の過ごし方などは、学部集会や学級の時間等で指導を繰り返し行い、学級活動でも授業を行う。また、懇談会の際に保護者に学校の方針を伝える。
- 地域社会や育友会等との連携を密にして、いじめ・問題行動の未然防止、早期発見、早期対応、再発防止に努める。
- Fuyo 夢プロジェクト(自分向上)を年に3回実施し、基本的生活習慣の確立を目指す。
- 不登校、保健室登校等の児童生徒や気になる児童生徒については、月1回の小中合同生徒指導協議会や週1回の各部の連絡会で共通理解を図り、全職員で対応にあたる。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携して対応にあたり、必要に応じてケース会議を行う。
- 不登校、保健室登校等の児童生徒や気になる児童生徒は、グループローラー作戦にあげ、メンバーによる具体的な支援方針を立て支援を行う。

⑤人権・同和教育の充実

SDGs 4・5・10・16

- いじめや差別を許さない人権意識を高める授業や集会を計画的に実施する。
- 教科指導においては、教科の特性を踏まえ、人権尊重の精神を養い、教科担任と学級担任との連携により指導内容の定着及び実践化を図る。
- 夏季休業中に行う平和集会を、児童生徒主体で企画運営し、平和を大切にする心を養う。
- 外部講師や教職員が人権集会を実施することで、人權の大切さについて深く理解させる。
- 人権集会・平和集会等活動内容については、学校だより、HPなどで紹介する。

[小学部]

- 全職員が各学級で人権に関わる話をして、児童の人権意識を養う。
- 平和集会は、6年生を中心に企画運営をし、平和の大切さを考えさせる。
- 人権週間(12月)に各学級で人権学習の授業実践を行い、児童の人権意識を高める。
- 人権週間の学部集会では、人権の話を行い、人権や生命を大事にする心情を培う。
- 小動物の飼育を通して、命の大切さについて考えさせると共に、友達と協力して成し遂げる達成感を味わわせる。

[中学部]

- 7年生で「男女共同参画社会へ」のパンフレットを活用して1時間授業を実施する。
- 8年時の社会科の部落史・部落問題学習のあとに、学級担任による人権・同和学習を行い、人権について深く正しく理解させる。
- 9年時の社会科でも憲法の平等権の学習において、さまざまな差別に気付き、差別を無くしていくとい

う意識を高める。

- 生徒会で平和集会を企画運営し、人権と平和問題について深く考えさせる。
- 毎月の人権集会において、教師が人権についてさまざまな経験を生かして話を行い、人権意識を高める。
- 実態に応じて男女の好ましい付き合い方やデート DV、有害情報の適切な対処法、LGBTs等、「性と向き合う学習」を行う。

⑥グローバル時代に対応する外国語教育の充実

SDGs 3・4・6・8・10・15

- 日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深める活動を取り入れる。
- 相手の立場や状況に配慮しながら、外国語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを理解させるようとする。
- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。その際、自分で考え、表現することができるよう配慮する。
- 関心のある事柄から日常的、社会的な話題において、時代の流れや国際社会を理解し、互いの考え方や気持ちを外国語で伝え合う言語活動を重視しながら言語活動の実質化を図る。
- ALT をはじめ、地域の外国人や海外での生活体験がある人たちとの交流体験から、自他の文化の共通点や相違点などの理解を深めさせる。
- ICT を用いて他校との外国語での交流を行い、自分の考え方や意見を伝え合う活動を年に数回実施する。
- 小学校・中学校の学習内容、教材、指導アイデアなどについて情報交換を行い、指導に生かしていく。
- 文化発表会等で、中学生の英語のスピーチを聞かせることで、数年後の自分たちの姿を意識させる。
- 小学校で扱われる教材と中学校で学習する内容をリンクさせ、より言語活動が有意義なものとなるよう連携を図る。

⑦情報教育の充実

SDGs 4

- デジタル教科書や電子黒板等のICT機器を効果的に利活用していくことで、分かりやすい授業の実現を目指す。一人一台端末を活用し、児童生徒の言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の育成を目指す。
- 各教科等の内容に関連させて、ICT機器の基本操作や情報通信ネットワークの適切な活用方法を身に付けさせ、情報を収集、整理、発信することを通してコンピューターリテラシーを高めていく。
- 小中9年間の系統性をもたせて情報モラル教育の指導を行い、各教科、総合的な学習の時間、「特別の教科」道徳、特別活動の中で、規範意識の育成を図ることを重点とする。「特別な教科」道徳では、主に情報化社会の中で適切なコミュニケーションを図ることができる態度を養い、生徒指導では、情報社会の中で発達段階に応じた危機管理能力や情報リテラシー、SNS等の活用方法などを身に付けさせるようにしていく。育友会や保護者に対して、学校便りや学級便り、懇談会等を通して情報モラルやマナーに関する啓発を行う。
- 小学校プログラミング教育のねらいの達成に向けて、プログラミングの体験を各教科等で年間計画に位置付けて、発達段階に応じたプログラミング的思考の育成を図っていく。
- 中学校では、技術科の「情報に関する技術」の領域において、プログラミングによるロボットカーの制御学習を行う。

4) 各教科等

各 教 科	国語	<p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成する。(1)日常生活に必要な国語について、その特質を適切に使うことができるようとする。(2)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(3)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 ○ 課題に対する自分の考えをもち、筋道を立てて表現する場で「話し合う」活動を積極的に行う。筋道を立てて考えるためのメモや言葉で表すことを通して、「話し合う」活動を活発に行うことができるようとする。 <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成する。(1)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。(2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(3)言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 ○ 「話し合う」活動の中で、考えを書きとめたり、友達の意見に触れたりし、自分の考えを伝えられる力の育成を目指す。自ら課題を見出し、振り返りによって自覚的に学習を進める力を育て、単元を通した言語活動の設定により、自分の問い合わせを立て、共有に向かう対話活動で課題解決を図る力を付ける。
	社会	<p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的な見方・考え方を働きかせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。(1)地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けられるようとする。(2)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したこと適切に表現する力を養う。(3)社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。 ○ 思考・判断する力を一層伸ばしていくために、発達の段階に応じて社会的事象の特色的捉え方や社会への関わり方などを系統的・段階的に育成していく。また、表現する力を高めるために、単元の終末に地域の方や社会と関わる機会を設定し、積極的に自分の思いを伝えることができるようとする。 <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的な見方・考え方を働きかせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 ○ (1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようとする。(2)社会的事象の意味や意

	<p>義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論する力を養う。(3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「単元を貫く問い合わせ」を設定し、まず予想させる。次に、毎時間のめあてに対するふりかえりを書くことで、どんな学習をしたかを理解させる。そして学習用語をプリントや補助資料などで整理させる。最後に、「単元を貫く問い合わせ」への答えを記述することで、生徒の思考を深め、主体的な学習態度の育成を行う。 ○ 学期に最低1本ずつ、グループ活動を取り入れることで、多様な意見を知り、全体で発表することで、深い学びができる授業を実践する。
算数 ・ 数学	<p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(2)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いたし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。(3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ○ 児童が主体的に取り組めるような問題解決型の授業を行う。授業において解決意欲が高まる課題提示を工夫し、目的を明確にした「書く活動」「話し合う活動」を行うようとする。 <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成する。(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いたし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。 ○ 問題解決する上で、見通しを立て、試行錯誤により結論に導く過程を大事に指導する。その際、生徒同士の多様な考えを共有するなどの協働的な活動を通して、よりよい解決の方法を考えられるようになる。のために、話し合う活動の前段階で、自分の考えを書き出したり、説明文を書いたりする時間を確保する。
理科	<p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成する。(1)自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようになる。(2)観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。(3)自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。 ○ 予想や仮説のもとに観察、実験等を行い、結果を整理して考察を行い、結論を導き出すことができるような問題解決型の授業を行う。「話し合う」活動を設定し、実験の結果を基に、友達と意見を交換しな

	<p>がら考察することができるようとする。必要に応じて ICT 機器を取り入れ、調べ学習や学習のまとめに生かす。</p> <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようとする。(2)観察、実験を行い、科学的に探究する力を養う。(3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 ○ 自分の考えを積極的に発表できる場面や「話し合う」活動を設定することで、主体性を養う。創意・工夫ある活動を企画実践できる場面を設定し、想像力を養う。
音楽	<p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成する。(1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようとする。(2)音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようとする。(3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。 <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成する。(1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫した音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようとする。(2)音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようとする。(3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。 ○ 感性を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさを見いだしたりすることが出来るようとする。また、音と音楽との関わりを築いていけるように生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化について理解を深めるよう学習の充実を図る。
図画 工作 ・ 美術	<p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようとする。(2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。(3)つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。 ○ 感性や想像力等を働かせて、表現したり鑑賞したりする資質・能力を相互に関連させながら育成できるよう内容の改善を図る。また、生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての理解を深める学習の充実を図る。 <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)造形的な視点について

	<p>理解させるとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようとする。(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えさせ、主題を生み出し豊かに発想し構想を練 MERCHANTABILITY ができるようとする。(3)美術の創造活動の喜びを味わわせ、美術を愛好する心情を育み、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主題的に学習に取り組む態度・姿勢が伝わるようなアイデアスケッチやワークシートの工夫をし、自ら主題を生み出せるよう指導する。ICT の効果的な活用と話す・書く場面の工夫を重ねていくことで、思考力・表現力の幅を広げさせる。
保健 体育	<p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようとする。(2)運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。(3)運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む力を養う。 ○ 各学年段階での基本的な動きや技能が身に付いていない児童が多く、発展的な技能に挑戦することができない児童がいるため、それぞれの学年段階において、基本的な動きや技能を身に付けられるように、自己の課題を見付け、その解決に向けて思考・判断する力を高めたい。そのために、ICTの利活用やグループ活動での学び合いなど、他者と関わって自己を見つめ直す機会を多く設定していく。 <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次の通り育成する。(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようとする。(2)運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。(3)生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 ○ ICTを活用して活動意欲を高められる導入を行い、グループ活動を多く取り入れ、生徒同士の教え合いやアイデアを出し合える授業展開にする。また、今後の生活における運動の重要性を理解させるため、保健、体育理論を通して、自身の将来の健康について深く考えられるよう、近年のデータや調査などをICTで提示する。
技術 ・ 家庭	<p>【小学部 家庭科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようとする。(2)日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、問題を解決する力を養う。(3)家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。 ○ 日常生活における基礎的な理解や生活をよりよくすることができるような問題解決型の授業を行う。「話し合う」活動を設定し、生活の営みに係る衣食住などの見方や考え方を基に、友達と意見を交換し

	<p>ながら生活に生かすことができるようとする。</p> <p>【中学部 技術・家庭科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 ○ 各学年の学習過程で、生活の自立に必要な基礎的な技能を身に付ける活動、生活の科学的な理解を深めるための実践的・体験的な活動、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする活動に力を入れる。
外国語 活動 ・ 外国語	<p>【小学部 外国語活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。(2)身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。(3)外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ○ 児童が興味・関心をもつ題材のもと、児童にとって身近でやってみたいと思うような活動を設定する。また、児童が相手意識や目的意識をもって、質問したり答えたりする必然性のある活動を行うようにする。コミュニケーション活動の場では、写真、イラスト、実物等の具体物を利用して、コミュニケーション活動の楽しさを実感できるようにする。 <p>【小学部 外国語科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語の違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ○ 読むことでは、英語で書かれたパンフレットや同じ表現が用いられた絵本を利用し、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音できるようにする。書くことでは、活字体の大文字と小文字を書くことができるようになる。また、慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようになる。 <p>【中学部 外国語科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り、発表)、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力

	<p>を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (1)授業を通して、身に付く見方・考え方が国や文化の違いを超えたコミュニケーションをもたらすことに気付き、グローバルな視点で述べ合うことができる活動を組み立てる。 (2)社会的な話題に関して知ことができたことについて、考えたこと・感じたこと・その理由などを表現できるように学びを深める活動を実践する。(3)生徒が自分で調べ、判断したことを適切に表現できるよう、学びを深められるような活動を組み立てる。 (4)話す場面(やり取り、発表)を設定し、プレゼンテーションソフトや ICT を活用した教材を用いることができる。また、指定された話題について、即興でそれに関するスピーチができるように、段階的に表現量を増やす活動を行う。 (5)4技能5領域をバランスよく活用しながら、自己発信やグループ内等での意見交換及び質疑応答が行えるように、学習を組み立てる。
特別 の 教科 道德	<p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ○ 問題解決的な学習や体験的な学習等、多様な学習の場や方法を工夫することにより、道徳的実践意欲を育成する。 ○ 「ふれあい道徳」を設定し、地域や保護者に公開することで連携を深める。 <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ○ 年間計画を基に、「考え、議論する授業」の実践を行い、豊かな人間性を培う。 ○ 多様な価値観の存在を前提にして、他者と対話し協働しながら、物事を広い視野から多面的・多角的に考察することの大切さや、いかに生きるかについて主体的に考えることの大切さに気付かせる。 ○ 自己を振り返る時間を意識的に設定し、今後の生活について考える時間を通して、道徳的実践意欲を育成する。 ○ 「ふれあい道徳」を設定し、地域や保護者に公開することで連携を深める。
生活科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人、地域、自然等と関わることを通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する。 ○ 地域ボランティアの人材活用リストを作成し、学習内容に応じて適宜活用していく。
総合的 な学習 の時間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人、地域、自然等と関わることを通して、身に付けた知識や経験などをもとに探究活動を行い、主体的に思考・判断をしたり、人と関わったりしながらよりよく問題を解決する力を身に付け、生涯にわたってたくましく生きていく力を育む。 ○ 地域ボランティアの人材活用リストを作成し、各学年の学習内容に応じて適宜活用していく。 <p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (3年)自分が住んでいる地域(郷土)を知り、よさを見付けるために、郷土料理を作ったり、地域行事に参加したりして地域についての学習を深める。 ・ (4年)高齢者疑似体験や高齢者との交流活動を通して福祉について学習する。「10歳に感謝を伝える会」を実施し、成長を振り返るとともにこれから的生活への新たな目標をもたせる。 ・ (5年)地域と連携し、米の田植え、大豆の種まき等の農業体験、調べ学習、豆腐作りや味噌作りを通して、勤労観や郷土への愛着を育む。 ・ (6年)平和についての調べ学習等を通して、自分ができることを考える。

	<p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(7年)「自然・生命・環境」をテーマとし、「食」や「農」に関わって農業体験や調べ学習を行い、食や労働について考え、レポートにまとめて発表する。 ・(8年)職場体験、その発表、高校調べを通して、仕事や将来について学ぶ。 ・(9年)国際理解を学年テーマに、平和を築くための調べ学習・発表会を行い、自分たちができる事を考える。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共生社会の担い手として求められる資質・能力を育てるために、話し合う活動や振り返り活動を重視した学級活動を実践する。 ○ 学校行事や総合的な学習の時間の充実のために、その事前・事後指導にあたる学級活動を年間計画に基づいて実施する。 ○ 市民性をはぐくむために、地域に出向いての体験活動や社会貢献を考えさせる学級活動を行う。 ○ 児童会と生徒会の自治的活動を促進するために、代表委員会・リーダー会・実行委員会等の取組を活性化させる。 ○ 9学年による縦割り活動を通して、自己有用感や相手を思いやる心を育む。 ○ 人間性・社会性豊かな子どもを育成するため、体育大会と文化発表会では創作活動に取り組ませる。 ○ 4年生では「10歳に感謝を伝える会」、8年生では「立志式」を行い、これから夢や目標、志について発表させ、日々の生活につなげる。 ○ 自分の成長を確認させ、自己の理解や将来設計につなげるために、全学年で学んだことを一つのファイル(「Fuyo 夢ファイル」)にまとめさせていく。 <p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期の始めに「今学期頑張ること」を、また、学期末に「今学期頑張ったこと」をスピーチする場を設ける。 <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9年生による<u>「9年間を語る会」</u>を卒業式の後の学活の時間と合わせて行う。
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9年間を通して、特別活動、総合的な学習の時間、各教科で基礎的・汎用的能力の育成を図る。 ○ 体育大会や文化発表会などの行事のあとには振り返りの活動を行い、自己理解・自己管理能力や課題対応能力を育てる。 ○ 児童会・代表委員会・生徒会・リーダー会・実行委員会等の主体的な自治的活動の促進により、社会に参画する態度を育成させる。 ○ 児童会と生徒会が連携し、合同で活動等を行うことで、学級や学校における生活上の諸問題を解決しようとする態度を育成する。 <p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年時に10歳を迎えて「感謝を伝える会」を実施し、成長を振り返るとともにこれからの生活への新たな目標をもたせる。 ・生活科や総合的な学習の時間に、地域の探検・学習、福祉体験、農業体験、米やみその販売等を通して、社会を知り、勤労観を身に付ける。 <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の取組に継続性をもたせる。 <p>※特別活動等系統表やキャリアパスポート(Fuyo夢ファイル)の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の視点を意識した学校行事の取り組みを行う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・汎用的能力の向上をはかる授業の実践をする。 ・8年時に「職場体験」と「立志式」を実施し、働くことの意義を知り、将来のことを考えるきっかけとする。
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ○学校版環境ISOの取組を、委員会・生徒会を中心に、小学部および中学部で主体的な活動として推進していく。特に環境問題に関する学習を進める。 ○9学年一緒に環境ISOキックオフ宣言集会で目標の共通理解を図り、ゴール宣言集会(小学部・中学部は別集会)では、成果と課題について振り返りを行い、次年度へ向けての意識を高める。 ○環境教育の一環として、環境委員会と生徒会が主体となり、全校でアルミ缶回収活動を進める。 ○地域の環境保全を目的とするボランティア活動や、清掃活動(9学年一緒に校区内での活動)にも積極的に参加し、意識を高める。
読書指導	<ul style="list-style-type: none"> ○読書活動を推進するために、朝の時間に小学部では読書タイム及びお話会、中学部では朝読書の取組を行う。 ○9学年を対象にした図書館祭りを年に2回実施し、図書館活用の推進を図る。 ○児童会の図書委員と生徒会の文化委員が主体となって、しおりコンクールや「おすすめ本」の選定等、読書意欲を高める取組を行う。 ○本を読んだり、調べものを作ったりする読書センター及び学習センターとしての機能充実を目指す。 ○計画的に学校図書館を利用し、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動・読書活動を推進する。 ○小・中学部それぞれに発達段階に応じた「図書館だより」を発行し、本の紹介を通して児童・生徒の読書の意識を高める。
食に関する教育	<ul style="list-style-type: none"> ○佐賀市教育委員会作成の「食に関する教育指導の手引き」「食に関する指導の手引き」等を活用して、食育の授業実践を行う。 ○ランチルームで、全児童生徒と職員が毎日一緒に給食を食べ、9年間を通した食育の定着を図る。 ○「きょうのおはなし」等により、食について関心をもたせ理解を深めさせる。 ○誕生日給食等を通して、自己肯定感を育む。 ○「給食ありがとう手紙」を渡したり、調理員と一緒に会食をしたりすることを通して感謝の心を育む。 ○低学年には「リクエストメニューアンケート」、高学年には「献立名人」を実施し、食品を選択する能力を身に付けさせる。 ○年に2回「ふれあいランチ」を実施し、9学年の縦割り班で食事をともにすることで、望ましい人間関係を育む。 ○学級活動等に学校栄養職員がTTとして指導に入り、栄養や食に関して専門的な立場から指導を行う。 ○児童会の健康委員会と生徒会の保健委員会が主体となって、集会や放送等で食事の重要性や楽しさ、食事のマナー、食文化、心身の健康等についての意識向上を図る。 ○「佐賀県食育強化月間6月と11月」の取組を、児童会の健康委員会が中心となって呼び掛ける。 ○各教科と連携した年間計画を作成し、計画的な実施に努める。
教育課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○「誰一人取り残さない社会の実現」というSDGs(持続可能な開発目標)の理念を意識し、総合的な学習の時間やキャリア教育の充実を図ることで、その理解とともに実践力を身に付けさせる。 ○「これから時代に必要となる資質・能力を身に付けた児童生徒の育成～主体的・対話的で深い学びを生かして～」をテーマとした学力向上を目指す研究を小中一貫で継続する。「話し合う」活動を工夫した授業実践を通して、児童生徒が自分の考えをもち、筋道を立てて考え方表現する力を身に付けることができるようとする。また、ICTを利活用した指導について研修を深め、授業に取り入れることで、児童の学習意欲を高め、積極的な授業への参加を促す。

4 学年別授業日数及び授業時間数の配当

(1) 年間授業日数配当表

(2)各教科・特別の教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動等の年間授業時間数配当表

4 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	13	21	20	14	3	19	22	20	17	18	18	15	200
2	16	21	20	14	3	19	22	20	17	18	18	15	203
3	16	21	20	14	5	19	22	20	17	18	18	6	196
備考													

(2) 必修教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間等の年間授業時数配当表

領域	学年	1	2	3
必修教科	国語	123	121	95
	書写	20	20	10
	社会	105	115	140
	数学	140	106	140
	理科	105	140	140
	音楽	45	40	35
	美術	50	35	35
	保健体育	113	115	105
	技術・家庭	72	70	35
	外国語	144	140	140
	特別の教科 道徳	36	36	35
総合的な学習の時間		65	88	70
特別活動(学級活動)		48	51	44
総時数		1066	1077	1024
生徒会活動		6	6	6
学校行事		24	25	30
その他		7	9	7
総 計		1103	1117	1067
備考	PTA行事、各行事の準備、大掃除、身体測定はその他の時数としてカウントしている。			

様式3

週 時 間 割 (小学部)

曜日 時限	月	火	水	木	金		
8:05~			「立腰」～朝の会(健康観察)				
8:10 朝の時間 8:30	全校朝会 学部朝会 中後期朝会	チャレンジタイム	学級の時間 8:20	読書タイム お話会 (フッ化物洗口)	チャレンジタイム なかよしタイム 児童集会・前期朝会 フレンズタイム (今月の心)		
8:35 1 9:20	①	②	8:20 ③ 9:05	④	⑤		
9:30 2 10:15	⑥	⑦	9:15 ⑧ 10:00	⑨	⑩		
10:35 3 11:20	⑪	⑫	10:20 ⑬ 11:05	⑭	⑮		
11:30 4 12:15	⑯	⑰	11:15 ⑱ 12:00	⑯	⑳		
給食 (40分)	12:15~12:55		12:00~12:40	12:15~12:55			
休み (45分)	12:55~13:40		12:40~13:25	12:55~13:40			
掃除 ～13:55	学級掃除	学級掃除		縦割り掃除	縦割り掃除		
14:00 5 14:45	⑳	㉑	13:30 ㉓ 14:15	㉔	㉕		
14:55 6 15:40	㉖	㉗	14:40 職員連絡会 各種会議等 補充(3～6年)	委員会活動 クラブ活動 代表委員会 補充(3～6年)	㉘		
下校指導 ～15:55			下校指導 ～14:25(15:30)				
備考	生徒指導委員会	特別支援委員会	①職員会議 ②生徒指導協議会 ③校内研究会 職員研修等	企画委員会	研究推進委員会		

勤務開始
8:05

休憩45分

勤務終了
16:35

※水曜日は、別に「水曜校時」で行う

様式3 週 時 間 割 (中学部)					
曜日 時限	月	火	水	木	金
8:05	「立腰」～朝の会(健康観察)				
8:10 朝の時間 8:30	全校朝会 学部朝会 生徒朝会 中後期朝会	朝の会 朝読書	8:05 朝の会 8:15	朝の会 朝読書	朝の会 朝読書
8:35 1 9:25	(1)	(2)	8:20 9:10 (3)	(4)	(5)
9:35 2 10:25	(6)	(7)	9:20 10:10 (8)	(9)	(10)
10:35 3 11:25	(11)	(12)	10:20 11:10 (13)	(14)	(15)
11:35 4 12:25	(16)	(17)	11:20 12:10 (18)	(19)	(20)
12:25 給食 12:55			12:10 給食 12:40		
12:55 休み 13:40			12:40 休み(45) 13:25		
13:40 掃除 13:55		学級掃除	帰りの会 13:25～13:40		
14:00 5 14:50	(21)	(22)	13:45 14:35 (23)	(24)	(25)
15:00 6 15:50	(26)	(27)	15:00～ 各種会議 (備考参照)	(28)	(29)
15:55 帰りの会 16:10		生徒専門委員会 月1回(第3週)	日直掃除		
備考	生徒指導委員会	特別支援委員会	①職員会議 ②生徒指導協議会 ③校内研究会 職員研修等 全体会後、 中学部会(隨時)	企画委員会	研究推進委員会
※水曜日は、別に「水曜校時」で行う					
勤務開始 8:05					
休憩(45)					
勤務終了 16:35					

様式4 令和6年度佐賀市立小中一貫校芙蓉校										
4月					5月					
日	AB	曜	学校行事	小学部	中学部	AB	曜	学校行事	小学部	中学部
1		月	春季休業始 辞令交付 安全点検、運営委員会、職員会議(運営機構・年間)①	学部会(学年引継会)	学部会		水	いじめ・いのちを考える日 水曜校時、職員会議(6月行事)④、安全点検	職員連絡会	職員連絡会
2		火	職員会議(4.5月行事)②、生徒指導協議会①、分掌事務連絡会	学部会、教材選定委員会	学部会		木		1年生を迎える会、春の遠足	学級生徒会・生徒専門委員会(4月反省・5月計画)
3		水	企画委員会(体育大会) 研究推進委員会①	学部会(予備)	学部会(予備)		金	憲法記念日		
4		木	職員会議(体育大会)③	小学部校内支援計画10:30~ 職員連絡会	職員連絡会		土	みどりの日		
5		金	春季休業終				日	こどもの日		
6		土	週休日				月	振替休日		
7		日	週休日			A	火	交通安全教室準備(放課後)		服装点検、⑥生徒総会議案書検討
8	A	月	いじめ・いのちを考える日 1学期始業式・赴任式、午前中授業	3時間授業、職員連絡会	朝活動①始業式・赴任式②学部集会③④学活、掃除の会、職員連絡会		水	水曜校時、交通安全教室(雨天時 全校交通安全教室)、生徒指導協議会②	②1~4年③5、6年交通安全教室、職員連絡会、子どもお守り隊	③交通安全教室、職員連絡会
9		火	給食開始	学部集会 委員会活動1	服装点検、①学活②③④⑤⑥NRT(国、社、数)、4時間授業		木	月曜時間割・腎臓検診(2回目)(小・中)	お話会1	
10		水	水曜校時、⑤⑥入学式準備	②身体測定2~6年、子どもお守り隊(2~4年)、5、6年入学式準備⑤⑥	①②③④NRT(理、英)、③学・9年 脳力検査、④総合⑤⑥入学式準備		金			生徒朝会、⑤⑥生徒総会
11		木	芙蓉校入学式	6校時カット	①学活(8.9年)⑤7年生を迎える会、7年給食開始、6校時カット		土	週休日		
12		金		町区児童会、1年4時間授業、②身体測定1年、③聴力検査2年、④3、5年	①発育測定(全年齢)②知能検査③④NRT(7年)、⑤⑥総合		日	週休日		
13		土	週休日			B	月	結団式		②③④課題テスト(全年年) 内科検診13:30~
14		日	週休日				火		学部朝会 内科検診1~3年13:30~	③④課題テスト(全年年)
15	B	月	耳鼻科検診13:00~(全年年)、施設開放委員会	1年給食開始(13:30下校~30日)、①知能テスト(3年)、②視力検査5、6年 小学部家庭訪問	①②NRT(2、3、4、5、6年)→変更 CRTを年末に、①聴力検査1年 小学部家庭訪問		水	水曜校時、市教科等部会(1)(2)	職員連絡会	連職員連絡会
16		火	眼科検診13:30~(全年年)		学級生徒会・専門委員会(4月)		木		委員会活動2 内科検診4~6年13:30~	
17		水	水曜校時、校内研① 脊髄検診(1次)	職員連絡会 QUテスト(1回目)	④令和6年度全国学力・学習状況調査(質問紙)、H-QUテスト(1回目)、職員連絡会		金		なかよしタイム1	
18		木	令和6年度全国学力・学習状況調査(6年・9年) 県学習状況調査(5年・8年)	令和6年度全国学力・学習状況調査6年(国・算)①② 県学習状況調査5年(国・算)①② 小学部家庭訪問	令和6年度全国学力・学習状況調査(国・数)①② 県学習状況調査8年(国・数・英)		土			
19		金	体育大会小中実行委員会(昼休み) 大会テーマ決定	フレンズタイム、視力検査①1年②2年③3.4年 小学部家庭訪問(予備日)	生徒朝会(4月)		日			県一齊部活動休養日
20	土		⑤学習参観、学級懇親会、育友会総会、弁当の日、人権総合学習開校式	学級懇親会(6校時カット)	月曜ベース、⑥欠、部活動保護者会	A	月	⑥体育大会係打合せ		人権集会①
21		日	週休日		県一齊部活動休養日		火		市特別支援学級見学会11:00~ チャレンジタイム始1	
22		月	振替休日				水	振替休業日(5月25日分)		
23	A	火	企画委員会	③令和6年度全国学力・学習状況調査(質問紙)	⑥9年修学旅行事前指導		木	心臓検診9:10~9:30(1・7年)		
24		水	水曜校時		9年修学旅行(大阪・京都)1日目、⑤7.8年研修旅行事前指導		金			
25		木	給食試食会	代表委員会(体育大会)1	9年修学旅行(大阪・京都)2日目、7.8年バス研修旅行(福岡・キッザニア)		土	水曜ベース、⑤体育大会準備(5~9年生)、給食あり	フレンズタイム	
26		金		スポーツテスト	9年修学旅行(大阪・京都)3日目、7.8年研修レポートまとめ・発表		日	体育大会・給食なし 雨天時27日(月)に順延(月曜の授業)		
27		土	週休日				月	振替休業日(5月26日分)		
28		日	週休日			B	火	全校朝会、給食なし(弁当)	②えがおわくわく訪問9:40~ 幼保ご小連携会議16:00'	
29		月	昭和の日				水	水曜校時、ふれあいランチ会、校内研②	職員連絡会	職員連絡会
30	B	火	全校朝会、月末統計(1.7年13日、他16日)		9年修学旅行まとめ・発表		木	ISOキックオフ宣言集会リハーサル(昼休み)、企画委員会(16:00~)	フッ化物洗口始1 縦割り掃除開始	学級生徒会・生徒専門委員会(5月反省・6月計画)
31							金	月末統計(21日)	チャレンジタイム2 歯科検診9:00~	⑥欠、教育相談(1日目)

			6月				7月			
日	AB	曜	学校行事	小学部	中学部	AB	曜	学校行事	小学部	中学部
1		(土)	週休日			A	月	いいじめ・いのちを考える日、全校朝会	4年净水場・エコプログラミング見学 3年縁真紙園祭について(講話)	
2		(日)	週休日				火	令和6年度プール水質検査日	チャレンジタイム5	学級生徒会・専門委員会(6月反省、7月計画) (5・8年生に関する教育講演)
3	A	月	いいじめ・いのちを考える日、ふれあいランチ週間、Fuyo夢プロジェクト週間、ISOキックオフ宣言集会、安全点検、プール開栓	5年歯磨き大会(5)	生徒会朝会、⑥欠、教育相談(2日目)		水	水曜校時、職員会議(夏季休業中の行事)⑥	職員連絡会	職員連絡会
4		火	チャレンジタイム3、租税教室打ち合わせ	⑥欠、⑤暴力団排除に関する講話、教育相談(3日目)			木	企画委員会	フッ化物洗口4 代表委員会2(ポスト)	生徒朝会
5	水	水曜校時	職員連絡会	職員連絡会			金			ハローワーク講話、漢字検定
6	木	企画委員会(16:00) ⑤⑥プール掃除・注水(3年~7年)	フッ化物洗口2 ⑤⑥プール掃除(3,4,5,6年)	服装点検、⑤⑥プール掃除・注水(7年)⑥欠教育相談(4日目)、歯科検診9:00~		(土)	週休日			市中体連3
7	金		前期朝会	⑥欠、教育相談(5日目)		(日)	週休日			市中体連4(予備日)
8	(土)	週休日				B	月	学部朝会	学期末事務のため⑥欠	人権集会③ ①②③9年実力テスト
9	B	日	授業参観日、弁当の日、月曜ベース	親子ふれあい活動、ふれあい道徳、緊急時引渡し訓練(5)	③ふれあい道徳		火		学期末事務のため⑥欠、人権の話	①②③9年実力テスト
10		(月)	振替休日(6月9日分)		テスト前部活動中止(~13日)		水	水曜校時、生徒指導協議会④	子どもお守り隊、職員連絡会	職員連絡会
11	火	学部別朝会 プール操作説明会(放課後)		人権集会②		木	いいじめ防止対策委員会・学校評議会(SC来校日に)	学期末事務のため⑥欠、お話し会3		
12	水	水曜校時、職員会議(7月行事)⑤	子どもお守り隊、②6年租税教室、⑤水難避難訓練、職員連絡会	④月3の授業、職員連絡会		金		学期末事務のため⑥欠、チャレンジタイム7		
13	木		お話し会2 委員会活動3 プール開き週間	定期テスト①(1日目)、給食なし		(土)	週休日、県中体連			県中体連
14	金	④不審者対応避難訓練	なかよしタイム2	定期テスト①(2日目) 9年私立進学説明会		(日)	週休日、県中体連			県中体連
15	(土)	週休日				(月)	海の日			
16	(日)	週休日		県一齊部活動休養日	A	火		学期末事務のため⑥欠		
17	A	月	図書室あじさい祭(~6/21)				水	水曜校時、校内研④	職員連絡会	職員連絡会
18	火						木	給食終了	フッ化物洗口5 (5, 6年着衣水泳 ワックスかけ1, 5校時授業)	
19	水	水曜校時、生徒指導協議会③	職員連絡会	職員連絡会		金	1学期終業式、学部集会、月末統計(14日)	平和集会①②、ワックスかけ2	①終業式・学部別集会②学活③学活④大掃除	
20	木		フッ化物洗口3 クラブ活動1			(土)	週休日			
21	金		フレンズタイム			(日)	週休日			県一齊部活動休養日
22	(土)	週休日				月	夏季休業始(~8/28) 県中体連(~8/23)	個人面談(1日目)	個人面談(1日目) 9年サマースクールⅠ期(~8/4)	
23	(日)	週休日				火	県中体連	個人面談(2日目)	個人面談(2日目)	
24	B	月	中後期朝会		中後期朝会(中体連・吹奏楽激励会)		水		個人面談(3日目)	個人面談(3日目)
25	火		チャレンジタイム4	学級生徒会・専門委員会(6月反省、7月計画)		木	※副校長先生校内研究授業指導(三里小妹尾先生来校)午前		個人面談(4日目)	
26	水	水曜校時、校内研③	職員連絡会	①~④スケッチ会、職員連絡会		金	職員研修(特別支援教育)9:00~		個人面談(5日目)	
27	木		5年宿泊研修(1泊2日)	生徒朝会		(土)	週休日			
28	金	月末統計(20日)	5年宿泊研修(1泊2日)	⑥欠(5時間授業)		(日)	週休日			
29	(土)	週休日		市中体連1		月				県吹奏楽大会
30	(日)	週休日		市中体連2		火	職員研修(いいじめに関する)8:30~ 職員研修(教育課程)9:30~ 職員研修(人権・同和教育)10:00~			
31						水				

日	AB	曜	8月			9月		
			学校行事	小学部	中学部	AB	曜	学校行事
1		木	いじめ・いのちを考える日、安全点検、企画委員会8:30~		8年職場体験		日	週休日
2		金			8年職場体験	A	月	いじめ・命を考える日
3		土	週休日				火	チャレンジタイム8
4		日	週休日				水	水曜校時
5		月			8年職場体験		木	フッ化物洗口7 クラブ活動2(写真撮影)
6		火			8年職場体験		金	フレンズタイム
7		水					土	週休日
8		木					日	週休日
9		金				B	月	
10		土	週休日				火	チャレンジタイム9
11		日	山の日				水	水曜校時、生徒指導協議会⑥ 子どもお守り隊 6年写真撮影(個人・クラス・授業風景)
12		月	振替休日				木	お話会4 代表委員会3(文化発表会)
13		火	閉庁日				金	文化発表会小中実行委員会 児童集会(図書)
14		水	閉庁日				土	週休日
15		木	閉庁日				日	週休日 第1回資源物回収日 学年対抗ドッヂビー大会
16		金					月	敬老の日
17		土	週休日			A	火	校内研⑥、5時間授業
18		日	週休日		県一齊部活動休養日		水	水曜校時
19		月	企画委員会		中学部登校日		木	フッ化物洗口8 クラブ活動3
20		火			サマースクールⅡ期(～8/23)		金	文化発表会小中実行委員会 なかよしタイム3
21		水	職員会議(文化発表会、9月行事) ⑦、校内研⑤、就学検討委員会、教育実習打ち合わせ				土	週休日
22		木	佐賀市夏期講座佐賀大会(PM 13:30~)				日	秋分の日
23		金	学校保健安全委員会(13:00~)、給食運営委員会及び食育推進委員会(14:15~)、健康管理委員会(14:45~)(PC室)				月	振替休日
24		土	週休日			B	火	全校朝会(テーマ発表) 成績処理のため⑥欠(～30日)
25		日	学級活動、親子除草作業、全校登校日				水	水曜校時
26		月	振替休日				木	
27		火			SAGAテスト(9年)		金	(5)⑥人権集会、月曜時間割、企画委員会(16:00~)
28		水	夏季休業終		SAGAテスト(9年)		土	週休日
29	B	木	2学期始業式、学部集会、給食なし	4校時	②③課題テスト(7,8年)		日	週休日
30		金	給食開始、月末統計(2日)	フッ化物洗口6、委員会活動5(写真撮影)	①②③課題テスト(7,8年)	A	月	中後期朝会(新人戦激励会)、月末統計(19日)
31		土	週休日					中後期朝会(新人戦激励会) 成績締め切り

10月					11月					
日	AB	曜	学校行事	小学部	中学部	AB	曜	学校行事	小学部	中学部
1		火	いじめーいのちを考える日、安全点検	チャレンジタイム10	学級生徒会・生徒専門委員会(9月反省、10月計画)	金	いじめーいのちを考える日、家族とホツとタイム	児童集会(計画)→中止 ②1年生年長さんとどんぐり拾い	県中学校英語学力調査 生徒会長立候補受付 ⑤9年薬物乱用防止教室	
2		水	水曜校時、職員会議⑨(文化発表会、11月行事)		職員連絡会		休日			
3		木	通知表締切	フッ化物洗口9 委員会活動6	生徒朝会(10月)		文化の日			
4		金	①小中合同クリーンアップ作戦				振替休日			
5		休日				B	火	学部朝会 Fuyo夢プロジェクト週間、就学時健康診断	チャレンジタイム14、就学時健康診断	マナーチェック、選挙公示
6		休日				水	水曜校時	6年修学旅行(1泊2日)	職員連絡会	
7	B	月	文化発表会小中実行委員会	学部朝会	服装点検	木		6年修学旅行(1泊2日) 秋のバス旅行(1~4年)		
8		火		チャレンジタイム		金				⑤⑥9年進学説明会 (生徒・保護者)
9		水	水曜校時、生徒指導協議会⑦	子どもお守り隊	職員連絡会		休日			
10		木		お話会5 クラブ活動4			休日			
11		金	前期終了、通知表渡し	なかよしタイム4		A	月		教育相談週間 読書・相談タイム	人権集会⑥
12		休日			市中体連新人戦		火	生徒指導協議会⑧	人権の話 ⑥4年科学教室 ⑥5、6年性に関する支援事業	
13		休日			市中体連新人戦(予備日)	水	水曜校時	子どもお守り隊	7.8年実力テスト(1日目)、9年生定期テスト③(1日目)、職員連絡会	
14		月	スポーツの日			木		お話会6、委員会活動7 2年おもじや祭り(1年、年長さんとの交流会)	7.8年実力テスト(2日目)、9年生定期テスト③(2日目)	
15	A	火	後期開始、学部朝会 文化発表会準備開始 文化発表会実行委員会	チャレンジタイム11	人権集会⑤、文化発表会準備開始(~22日)、SAGAテスト(9年)	金	地震火災訓練④	読書・相談タイム ⑤6年薬物乱用防止教室	9年生定期テスト③(3日目)	
16		水	水曜校時		SAGAテスト(9年)、職員連絡会		休日			
17		木		フッ化物洗口10 クラブ活動5			休日 育友会バザー		県一斉部活動休養日	
18		金		フレンズタイム		B	月		読書・相談タイム	選挙運動開始
19		休日					火		読書・相談タイム	7年防煙教室⑥
20		休日	育友会バザー		県一斉部活動休養日	水	水曜校時、校内研⑧			私立願書提出web(～1/5)
21	B	月	ふれあいランチ会			木	企画委員会	読書・相談タイム、代表委員会		
22		火		チャレンジタイム12 6年防煙教室⑤		金		フレンズタイム	⑤⑥生徒会長選挙	
23		水	水曜校時、校内研⑦		職員連絡会		休日	祝日 勤労感謝の日		
24		木	文化発表会小中実行委員会 企画委員会	フッ化物洗口11			休日			
25		金	150周年記念式典、文化発表会、弁当の日 小学部教育実習開始(~11/22)			A	月	全校朝会 図書室もみじ祭(～29日)		選挙結果報告(帰りの会に放送) 9年生三者面談
26		休日				火		チャレンジタイム15 ②③3年生警察署見学	学級生徒会・専門委員会(11月反省、12月計画) 9年生三者面談	
27		休日				水	水曜校時、職員会議⑪(冬休みの行事、1月行事等、令和7年度教育課程)	QUテスト(2回目)	職員連絡会、④H-QUテスト(2回目)	
28	A	月	全校朝会、ふれあいランチ週間	①②③④⑤3年生スーパーマーケット見学	教育相談期間(～8日)⑥次	木		フッ化物洗口13 クラブ活動6	9年生三者面談	
29		火	学校訪問	チャレンジタイム13	学級生徒会・生徒専門委員会(10月反省、11月計画)	金	月末統計(20日)、⑤新7年入学説明会、新7年採寸	⑤新7年入学説明会(6年生、6年保護者参加)	⑤新7年入学説明会(7年生参加)	
30		水	水曜校時、職員会議⑩(12月行事)		選管発足 職員連絡会		休日			
31		木	月末統計(22日)	フッ化物洗口12	生徒朝会(11月)					

				12月						1月	
日	AB	曜	学校行事	小学部	中学部	AB	曜	学校行事	小学部	中学部	
1		日	週休日			(水)	祝日 元日				
2	B	月	いじめいのちを考える日、安全点検、学部朝会		生徒朝会(12月) 9年生三者面談	(木)	年末年始の休日				
3		火		チャレンジタイム16	服装点検	(金)	年末年始の休日				
4	水		水曜校時、生徒指導協議会⑨		職員連絡会	(土)	週休日				
5		木		フッ化物洗口14、委員会活動8		(日)	週休日				
6		金		前期朝会		月	冬季休業、企画委員会				
7		土	週休日			火	冬季休業終了				
8		日	週休日			B 水	3学期始業式、学部集会 いじめいのちを考える日、安全点検、職員会議⑩(2月行事)	学部集会、子どもお守り隊	学部集会(人権含む)、職員連絡会		
9	A	月			人権集会⑦、入試用成績締切	木	給食開始	お話会8 委員会活動(新)9	生徒朝会(1月)、私立前期入試書類提出(～12日)		
10		火		チャレンジタイム17、5年鼓の胴の松飾り写真撮影		金		フレンズタイム	私立願書提出エエヴ(～26日)		
11	水		水曜校時、校内研⑨	子どもお守り隊	職員連絡会	(土)	週休日				
12		木		お話会7、クラブ活動7(見学)		(日)	週休日		県一斉部活動休養日		
13		金	ISOリハーサル	児童集会(環境・環境ISOゴール集会) (5×6)学級懇談		月	成人の日				
14		土	週休日		ワックスがけ(ろうか・1階)部活動終了後	A 火	月曜時間割	チャレンジタイム19	服装点検		
15		日	週休日		県一斉部活動休養日	水	水曜校時、生徒指導協議会⑩		職員連絡会・県立特別選抜願書点検(校内)		
16	B	月			ISOゴール集会、⑥生徒会役員選任式	木		フッ化物洗口16、③④学習参観、10歳を祝う会(4年)	私立前期入試、⑤⑥8年立志式		
17		火		チャレンジタイム18	学級生徒会・生徒専門委員会 (12月の反省、1.2の計画) 9年保育実習	金		なかよしタイム5			
18	水		水曜校時		職員連絡会	(土)	週休日				
19		木		フッ化物洗口15		(日)	週休日 第2回資源物回収日				
20		金		フレンズタイム	大掃除、ワックスがけ⑥	B 月					
21		土	週休日			火		チャレンジタイム20	私立前期合格発表		
22		日	週休日			水	水曜校時		職員連絡会		
23	A	月	給食終了			木	企画委員会	フッ化物洗口17、代表委員会 (6年生ありがとう集会)	私立後期入試書類提出(～28日)、県立特別選抜出願		
24		火	2学期終業式、学部集会、月末統計(17日)	4時間授業(給食なし)	生徒会役員認証式 (給食なし)	金	新入児保護者説明会	新入児保護者説明会			
25	水		冬季休業始		9年ウインターランド	(土)	週休日				
26		木			私立願書点検(校内)、9年ウインターランド	(日)	週休日				
27		金			9年ウインターランド	A 月	全校朝会		県立特別選抜出願(～2日)		
28		土	週休日			火		チャレンジタイム21	学級生徒会・生徒専門委員会(1月の反省、2月の計画)、私立前期合格発表		
29		日	年末年始の休日			水	水曜校時、校内研⑩		職員連絡会		
30		月	年末年始の休日			木	企画委員会	フッ化物洗口18 委員会活動10	私立後期入試		
31		火	年末年始の休日			金	月末統計(17日)、新入児体験入学	なかよしタイム6 新入児体験入学			

日	AB	曜	2月			AB	曜	3月			日
			学校行事	小学部	中学部			学校行事	小学部	中学部	
1		土	週休日				土	週休日			1
2		日	週休日				日	週休日			2
3	B	月	いじめ・いのちを考える日 安全点検、学部朝会、Fuyo夢プロジェクト週間		生徒朝会(2月)	B	月	いじめ・いのちを考える日 安全点検	学部朝会	生徒朝会(3月)、⑥9年入試事前指導	3
4		火		チャレンジタイム22	私立後期合格発表 県立特別選抜入試		火		チャレンジタイム25、6年通知表提出	県立一般入試(1日目)百人一首大会、 <small>7・8年成績締切</small>	4
5		水	水曜校時、職員会議⑩(3月の行事)		職員連絡会		水	水曜校時		県立一般入試(2日目)卒業式練習 <small>5、6、7、8年、職員連絡会</small>	5
6		木	いじめ防止対策委員会	お話会9			木		お話会10	9年修了式、卒業式準備、9年生を送る会	6
7		金		チャレンジタイム23			金	中学校卒業式	フレンズタイム	(中学校卒業式)9月末統計(5日) <small>※給食なし</small>	7
8		土	週休日				土	週休日			8
9		日	週休日		部活動中止(～13日)		日	週休日			9
10	A	月			県立特別選抜合格発表	A	月	通知表提出			10
11		火	建国記念の日				火			県立一般合格発表	11
12		水	水曜校時、生徒指導協議会⑪	子どもお守り隊	7・8年生定期テスト④(1日目)、職員連絡会		水	水曜校時	子どもお守り隊		12
13		木		フッ化物洗口19	7・8年生定期テスト④(2日目)、県立一般選抜願書点検(校内)		木		フッ化物洗口21 6年修了式、6年給食終了、卒業式準備、4時間授業		13
14		金		フレンズタイム	7・8年生定期テスト④(3日目)		金	小学校卒業式	卒業式 4時間授業(給食なし) 月末統計6年(13日)	給食有り	14
15		土	週休日、人権総合学習閉講式				土	週休日			15
16		日	週休日		県一齊部活動休養日		日	週休日		県一齊部活動休養日	16
17	B	月	成績処理のための⑤欠(～21日)		服装点検	B	月				17
18		火		チャレンジタイム24	県立一般選抜提出願(～22日)、9年成績締切		火			県立一般選抜検査、学級生徒会・生徒専門委員会(3月の反省、4月の計画)	18
19		水	水曜校時、校内研⑪		職員連絡会		水	水曜校時		⑤大掃除、職員連絡会	19
20		木	企画委員会	学習参観(6年生ありがとう集会)、6年学級懇談会⑥			木	春分の日			20
21		金	小中合同面接練習(放課後)		9年通知表締切		金	給食終了	4時間授業、フッ化物洗口22	県立一般選抜合格者二次発表、⑤7・8年学年末懇談会	21
22		土	週休日				土	週休日			22
23		日	祝日 天皇誕生日				日	週休日			23
24		月	振替休日			A	月	3学期修了式、学部集会、辞任式、月末統計(15日)			24
25	A	火	全校朝会				火	学年末休業始			25
26		水	水曜校時、職員会議(4月行事)⑫		職員連絡会		水	諸帳簿提出締切			26
27		木		フッ化物洗口20	学級生徒会・生徒専門委員会(2月の反省、3月計画)		木	運営委員会			27
28		金	月末統計(18日)、				金				28
29							土				29
30							日				30
31							月	学年末休業終			31